

立ち上がった人たちの言葉に、復興のヒントがあるはずだ。



野田、つながって一歩。

私たちは復興にいます。そして、復興をはじめます。今から、みんなで、力をあわせて。

復興の道標  
RECONSTRUCTION MARKER



宮古、再起動。

私たちは復興にいます。そして、復興をはじめます。今から、みんなで、力をあわせて。

復興の道標  
RECONSTRUCTION MARKER



大槌、振り返らない。

私たちは復興にいます。そして、復興をはじめます。今から、みんなで、力をあわせて。

復興の道標  
RECONSTRUCTION MARKER



大船渡、誇りと、夢と。

私たちは復興にいます。そして、復興をはじめます。今から、みんなで、力をあわせて。

復興の道標  
RECONSTRUCTION MARKER

# 復興のかけ橋フォーラム

～つながりを力に～

2013.2.9(土) 13:00-16:55 会場：宮古市 公立大学法人岩手県立大学宮古短期大学部 大講義室及び講義室 **定員：200名**

❖ 13:00-13:10 **開会・知事挨拶**

❖ 13:10-14:00 **基調講演**



演題：「人を助けるすごい仕組み」

講師 西條剛央

早稲田大学大学院専任講師。「ふんばろう東日本支援プロジェクト」代表、心理学者。1974年宮城県仙台市生まれ。早稲田大学大学院で博士号(人間科学)取得。「構造構成主義」という独自のメタ理論を創唱。この理論を用いて同プロジェクトを立ち上げ、ボランティア未経験ながら日本最大級のボランティア・プロジェクトに成長させる。

❖ 14:00-15:10 **パネルディスカッション**

テーマ：「復興三年目に向けて」

コーディネーター／藤井克己(国立大学法人岩手大学長)

パネリスト／遠増拓也(岩手県知事) 鹿野順一(特定非営利活動法人いわて連携復興センター代表)  
谷村邦久(岩手県商工会議所連合会副会長) 中村慶久(公立大学法人岩手県立大学長)  
高橋真裕(社団法人岩手経済同友会代表幹事) 西條剛央(ふんばろう東日本支援プロジェクト代表)

❖ 15:25-16:25 **復興分野別情報交換会** ※詳細は裏面

テーマ：「住民参加による被災者支援の充実」(くらし)  
「水産加工業の復興」(なりわい)  
「岩手からの情報発信力を高める」(情報発信、風化防止)

❖ 16:40-16:55 **復興分野別情報交換会報告会**

分野別に復興に直接携わる関係者等が集まり、活動状況と課題の報告及び今後の連携、協調方策等を討議します。

テーマ及び内容	座長【○】/及びパネリスト【○】
<p>①くらし</p> <p>■テーマ/住民参加による被災者支援の充実</p> <p>■内容/地域住民の参加とNPO・行政等の多様な主体との連携による被災者支援の充実</p>	<p>◎社会福祉法人宮古市社会福祉協議会/主査 有原領一</p> <p>○特定非営利活動法人みちのくふる里ネットワーク/代表理事 大関輝一</p> <p>○一般社団法人おらが大槌夢広場/スタッフ 高田由貴子</p> <p>○特定非営利活動法人夢画プランニングいわて/理事長 平賀圭子</p> <p>○釜石市市民生活部地域づくり推進課/課長 大久保孝信</p>
<p>②なりわい</p> <p>■テーマ/水産加工業の復興</p> <p>■内容/復興の状況と新たな水産加工業の構築に向けて</p>	<p>◎岩手県復興局産業再生課/総括課長 伊藤克宏</p> <p>○小野食品株式会社/代表取締役 小野昭男(岩手県食産復興推進コーディネーター)</p> <p>○株式会社川秀/代表取締役 川端秀典(岩手県食産復興推進コーディネーター)</p> <p>○トヨタ自動車東日本株式会社/TQM推進室 室長 芹澤嘉次</p> <p>○宮古市産業振興部/部長 佐藤日出海</p> <p>○岩手県立大学宮古短期大学部/学部長 植田眞弘</p>
<p>③情報発信・風化防止</p> <p>■テーマ/岩手からの情報発信力を高める</p> <p>■内容/効果的な情報発信の手法 ※翌日開催するWSと連動(定員:30名)</p>	<p>◎株式会社編集工学研究所/主任研究員 榎田理(ファシリテーター)</p> <p>○陸前高田市協働推進課/報道担当主査 古賀龍一郎</p> <p>○特定非営利活動法人いわて連携復興センター/事務局長 葛巻徹</p> <p>○陸前高田市自治会組織/長洞元気村 事務局長 村上誠二</p> <p>○株式会社プランニングポート/代表 福嶋祥子 (浜のミサンガ「環」全国PRチームディレクター)</p>

※パネリストは一部調整中

2.10【日】 10:00～15:00 「“物語力”を活かした情報発信」 会場:宮古市 岩手県立大学宮古短期大学部

講師:株式会社編集工学研究所  
主任研究員 榎田理

県外から「岩手からの復興関連の情報が届いていない」との声が聞かれる中、県外向けの単なる情報提供だけではなく、被災地の背景や歴史、文脈などを情報に纏わせ(物語力)て、心に響く、浸透力の強い情報提供の方法について、「ワーク」を通じて理解・習得する。座学だけではなく、各自の「ワーク」を通じて「物語力を活かした情報発信」を理解・体験・共有します。

定員 200名

締め切り 2月4日(月)【定員になり次第締め切り】

メールまたはFAXで受付の上、聴講券をお送りします。応募多数の場合は先着順となります。

問い合わせ 岩手日報社広告局広告部「復興フォーラム係」TEL 019-653-4111へ

(9時30分～17時、土・日・祝日を除く)

申し込み

FAXの場合は、参加申し込み書に記入の上、FAX 019-626-1881 開催事務局:岩手日報社広告局広告部「復興フォーラム係」へ。

メールの場合は、名前、郵便番号、住所、電話番号、参加したい復興分野別情報交換会(①くらし、②なりわい、③情報発信・風化防止から選択)翌日2月10日開催の情報発信ワークショップにも参加希望の場合はその旨、及び宮古会場参加と明記の上、fukkou@iwate-np.co.jpへ。

※応募の個人情報は、岩手県及び岩手日報社が聴講券の発送、フォーラム受付のために使用します。

## 復興のかけ橋フォーラム 参加申し込み書

(所属)

(氏名)

(職名)

(電話番号)

(郵便番号)

(住所)

2/9 復興分野別情報交換会 (いずれかを選択)

①くらし ②なりわい ③情報発信・風化防止

2/10 「“物語力”を活かした情報発信」(翌日のワークショップへの参加を希望する場合)